

令和8年9月1日

山陽小野田市立本山小学校
保護者様 地域の皆様

山陽小野田市立本山小学校
校長 吉野 浩 美

学校教育に関するアンケート結果について（お知らせ）

初秋の候 保護者・地域の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より本校教育活動にご支援ご協力を賜り深く感謝しております。

さて、7月に実施しました標記アンケートでは、保護者・地域の皆様からご回答及び、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

つきましては、下記のとおり結果をお知らせします。なお、保護者・地域の皆様の評価結果を参考にさせていただき、今後の学校運営や授業改善に生かして参りたいと存じます。

今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

【学 校 教 育 目 標】

誇りと志をもち、自ら学び考動し、たくましく生き抜く児童生徒の育成



目標の達成度（肯定率【％】）

肯定率とは、質問に対して①「よくあてはまる」②「ややあてはまる」などのプラス評価を選択された方の割合（％）を表したものです。本校では85％以上を目標に教育活動を行っています。

【学びプロジェクト】

	児 童	保護者	教職員	地 域
家庭学習の習慣	89	80	100	
主体的な学び（自主学习）	87	99	100	91
対話・振り返り	対話 87 振り返り 85		100	
授業等を参観する機会		98		100
授業の分かりやすさ・学習内容の定着	94	85	100	
すすんで読書	83	49	100	
特別な教育的支援の取組			100	
授業評価・授業改善			100	
地域の自然や施設、地域の人材を活用した活動				91

○「家庭学習の習慣」では、昨年度と比べ、児童の肯定率が84%から89%に上昇しています。今年度から、学習時間の目標を立て、毎日記録する取組を行っています。児童は日々の学習の頑張りを実感でき、教職員もその実績を価値づけるようにしています。今後も、各学級でユメ勉ループリックを作成したり、全校でユメ勉集会を行ったりすることで、児童の主体的に学ぼうとする姿を伸ばしていこうと思います。

○「対話・振り返り」と「授業の分かりやすさ・学習内容の定着」の肯定率が児童・保護者・教職員ともに高いです。授業の中で自分の考えを伝え合ったり、授業の内容を自分の言葉で振り返ったりする時間を確保することで、児童が自分の学びを確認することができています。自己分析をすることで、自主学习につなげ、学習内容の定着を図りたいです。

○「すすんで読書」では、児童や教職員の肯定率は高いですが、保護者は49%と低いです。学校では読書に慣れ親しむ環境（時間や学校図書館、委員会活動）が整っており、読書を推進しやすいと考えられます。親子読書週間や学校図書館の開放などを通して、今後も家庭での読書を意欲づけたいと思います。ご家庭でも読書へのポジティブな声かけをお願いいたします。

【心みがきプロジェクト】

	児 童	保護者	教職員	地 域
気持ちのよいあいさつ	86	91		92
相手の気持ちを考えた言葉遣い	94	79		88
きまりを守る	95	96		83
不登校やいじめのない学校	94	97		
学校が楽しい	84	91		

- 「あいさつ」については、目標の85%を超えました。委員会活動で、朝の登校班のあいさつを自己評価する取組みにより、朝から気持ちのよいあいさつを実践できる子どもが増えたと実感しています。しかし、残念なことに地域の方から「分からない」という評価がありました。学校での「よい子のくらし」、「あいさつルーブリック」を地域とも共有し、取組みについて知っていただく手立てについて考えていきたいと思ひます。
- 「言葉遣い」について、学校では「相手の方に体を向けて、相手の目を見て、相手意識をもって話す」ことができるように授業内や日常的に指導を続けていきます。さらに、大人が率先して丁寧な言葉遣いをするこゝが大事だとも考えます。学校、家庭、地域が協働して取り組んでいけたらと考えています。
- 「きまりを守る」については、高い肯定率ですが、一部守れていない児童もいます。教職員によって基準が異なるように、引き続き共通理解を図り、指導していきます。
- 学校が児童にとって安全安心の場になるよう「スクールワイドポジティブ行動支援（SWPBS）」の視点のもと、教師間、児童間での温かな関係づくりにこれからも努めていきます。

【体づくりプロジェクト】

	児 童	保護者	教職員	地 域
生活習慣（早寝・早起き）	77	82		
生活習慣（朝ごはん）	100	97		
生活習慣（メディアコントロール）	81	64		
健康・体力向上	84	100		

- メディアコントロールについて 取組みの肯定率は昨年度より向上しましたが、依然として目標には達していません。そのため、今年度より竜王中学校区で連携して実施している「メディアコントロールチャレンジ（中学校のテスト期間に合わせた取組み）」を、「睡眠時間」などに焦点を当てて、今年度も継続して取り組んでいきます。
- 体力テストの結果を分析すると、昨年度と比較して児童の柔軟性は向上しており、全国平均を上回っています。その他多くの項目でも全国平均を超えていますが、「投げる力」については課題が見られました。日常生活では身に付きにくい能力であるため、全校遊びや委員会などが提案した遊びなどを通して、楽しみながら力がつくよう工夫していきます。

【りゅうみんPRIDEプロジェクト】

	児 童	保護者	教職員	地 域
地域行事に子どもたちが積極的に参加	69	81		91
学校からのおたより		99		100
参観授業		97		100
地域連携、人材活用した活動		99	100	91
子どもの主体性を育む活動		99	100	
地域・家庭・学校の協働				82

- 昨年度同様、肯定率の高い結果となっています。地域行事への参加では、保護者の方の肯定率が80%を超えました。これは、保護者の方が積極的に地域行事に参加されることにより、児童の参加率も向上していると考えられます。夏の慰霊祭・盆踊り大会では、ポスターづくりや盆踊りに参加する児童が多くなっています。2学期以降に行われる行事もぜひ、ご家庭でご参加されてください。
- 地域連携、人材活用した活動では、生活科や社会科、総合的な学習の時間で多くの方、本山ならではの場所から学んでいます。本年度は、本山地区運営協議会子ども部会、教育後援会から全校児童にけん玉をいただき、集会を開いたり、5年のサワヒヨドリの栽培を一緒に行ったりと多くの方に来校して児童との交流をもつていただいています。子どもたちが本山の「ひと・もの・こと」を大好きになるよう、積極的に活動をしていきたいと考えております。

【その他（保護者や地域の方から自由記述から（一部抜粋））】

- 子どもたちにさまざまな場面で寄り添い、温かく関わってくださり、本当にありがとうございます。
- 登校時の集合時間と班長の役割りを守るよう 再度指導をお願い致します。
- 自分の意見がきちんとと言えるよう配慮して接しておられると感じます。子ども達がのびのびしています。
- 相手の気持ちを考えた言葉遣いはできているか分からないがイライラ、悲しいなど自分の感情のコントロールができていると思う。
- 学校生活を楽しんでいるようで、先生方には感謝しております。一方で、他の児童の言動に不安を感じながら過ごしている様子を見聞きすることがあり、その点が少し気になっています。子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを、今後もよろしくお願いいたします。
- 先生方に対して、友人に対しての言葉遣いが気になることがあります。
今後も、学校・家庭・地域が協働して、一步一步着実に歩みを進めていきたいと考えています。